

教育委員会定例会（平成27年9月）会議録

1 日 時	平成27年9月11日（金）15:00～16:10
2 場 所	あかがねミュージアム地下1階 多目的ホール
3 出席者	委員長 三木 由紀子 委員 伊藤 嘉秀 宮内 文久 長野 美和子 教育長 阿部 義澄 事務局長 木村 和則 総括次長 眞鍋 育朗 次 長 高橋 良光 横井 邦明 赤尾 恭平 課 長 高橋 正弥 渡辺 環 曾我部 みさ 桑原 一郎
4 教育長の一般報告	教育長の報告 8月分行事報告及び9月分行事予定について その他
5 記録者氏名	社会教育課 岡部 文仁
6 会議の概要	<教育長の一般報告> <報告> 報告第7号 専決処分の報告について（平成27年度補正予算 [第4号] の議案送付について） <議案> 議案第40号 新居浜市スポーツ推進審議会委員の委嘱につ いて <いじめ、不登校等生徒指導関係について> <その他> (1) 平成27年度教育委員会取組方針について (2) 平成26年度決算について (3) 平成27年度全国学力・学習状況調査について

<p>三木委員長</p>	<p>それでは定刻がまいりましたので、ただ今から平成27年第9回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員は、伊藤委員さん、長野委員さんをお願いいたします。会期は本日限りといたします。</p> <p>平成27年第8回定例会会議録承認は、宮内委員さん、伊藤委員さんにご署名をいただいております。</p> <p>それでは、教育長さんの一般報告をお願いいたします。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>それでは、一般報告を行います。資料の2ページをご覧ください。</p> <p>18日 第2回新居浜あかがね算数・数学コンテストが開催されました。数学的な考え方を駆使し、難問に挑戦することを通して、工夫して解く喜びや算数・数学の楽しさを味わうことにより、優れた数学的な資質能力を備えた児童生徒の育成を目的として、昨年に続き2回目の開催となりました。昨年より約100名増加の挑戦となり、小学生125名、中学生146名の参加がありました。参加した児童生徒と、問題作りから試験会場でのお世話までしていただいたボランティアの関係者の方々に深く御礼申し上げます。</p> <p>平成27年度第1回社会教育委員会議が開催されました。平成27年度の社会教育関係事業や成人式の在り方について説明が行われました。</p> <p>19日 第1回地域発達支援協議会が新居浜特別支援学校川西分校で開催され、分校長から学校の概要説明や校内見学をしていただきました。また、平成26年度の発達支援課の取組み実績の報告を受けて、各委員より今後の発達支援課の方向性等の協議が行われました。</p> <p>20日 第2回小中学校教務主任研修会が開催されました。「新居浜市学力向上推進委員会の取組を受け、確かな学力の定着と向上のために主幹教諭または教務主任としてどのように取り組んでいるか。」のテーマで研究協議が行われました。</p> <p>21日 2015よさこい全国大会で優秀賞「粋(いき)」を受賞した「浜っ鼓★弾★DAN」が、市長に報告に来られました。昨年の地方車賞「轟」の受賞に続き、2年連続の受賞となりました。</p> <p>22日 国民体育大会第36回四国ブロック大会ウエイトリフティング競技が新居浜市重量挙練習場を会場として開催されました。</p> <p>24日 JCカップU-11 少年少女サッカー大会に県代表と</p>

して多喜浜・垣生サッカースクールが出場することになり、その喜びと大会での抱負を市長に報告に来られました。全国の47都道府県より47チームが参加して行われる、5年生を中心とした大会です。

26日～27日 グローバルな人材の育成に向けたESDの推進事業 ユネスコスクール・ESD研修会 in 大牟田「つながろう、語り合おう、持続可能な社会づくりのための処方箋！」が大牟田市教育委員会が主催となって開催されました。大牟田市教育委員会は、昨年度から文部科学省の推進事業を受け、福岡教育大学とESDコンソーシアムを結成しています。地域のESDをさらに推進するために企画されました。新居浜市教育委員会では今年から鳴門教育大学とコンソーシアムを結成しており、大変参考になりました。

26日 第29回全日本小学生男子ソフトボール大会で3位入賞を果たした中萩JSSの選手らが市長に報告に来られました。

27日 第3回教育支援委員会が開催され、主に来年度新入学する児童53名の適切な就学先について協議されました。

28日 第4回小中学校教頭研修会が「『持続発展教育（ESD）の推進による楽しい学校づくり』を進める中、自己の取組をどう分析・評価し、どのように改善しようとしているか。」のテーマで研究協議が行われました。

あすなろ教室での夏季休業中の後期学習会が28日まで開催されました。前期の参加者20名、後期の参加者31名でした。

29日～30日 第5回高校生笑い日本一決定戦「笑顔甲子園“絆” in 新居浜」が開催されました。

30日 市P連レクバレー大会が市民体育館で開催され、新居浜小学校が優勝、中萩小学校が準優勝となりました。

31日 第5回新居浜市議会定例会本会議が開催されました。

新居浜市東雲市民プールの今年度の開園が終了しました。6月20日からの利用者は43,273人でした。昨年度より約6,000人の増加でした。今年は真夏日が続いたので、それを数字で示しているのではないかと思います。

9月1日 新居浜市主催の平成27年度の新居浜市福祉プール開放事業は、警報発令のため中止となりました。

公立幼稚園・小中学校で第2学期が開始されました。

2日 にいはまスクールエコ運動認定証授与式が執り行われ、新規認定校として、金栄小の縦割り班での花づくりやリサイクル活動

等、惣開小の花いっぱい活動・裏紙の再利用・P T Aとの連携活動等、大生院小の一人一鉢栽培・生ごみたい肥作り・環境調査等の活動が認められました。これまでの取組について自信あふれる態度で、児童の皆さんから説明が行われました。今年で15校の小学校が認定され、平成31年には全ての小中学校が認定される予定です。

5日 心理アセスメント教室がこども発達支援センターで開催され、15名の教員が参加されました。

6日 別子小中学校運動会が開催されました。

S S T研修会が開催されました。

8日～10日 新居浜市議会定例会本会議一般質問が行われ、8名の議員さんから質問がありました。主なものとして、子どもの遊び場創出と運動能力の向上について、総合教育会議について、小中学校のエアコン設置について、新居浜市史について、教育問題について、高津公民館の多目的用地確保について、育鵬社の歴史教科書採択について、あかがねミュージアムの運営について、放課後子ども総合プランについて等がありました。

8日 第70回国民体育大会に出場する新居浜選手団の壮行会が開催されました。新居浜市からは13競技38名の選手が出場することになりました。日頃の練習の成果を発揮するとともに、2年後の愛媛県での国体開催の盛り上がり期待したいものです。

11日 新居浜市議会福祉教育委員会が開催されました。

その他、9月の主な行事予定について報告を申し上げます。

13日 中学校運動会（ひびき分校・別子中学校を除く。）

17日 新居浜市議会定例会本会議

19日 第3回中学校トップアスリート事業（市営サッカー場）

20日 小学校運動会（若宮小・浮島小は5月に実施済。別子小は中学校と一緒に実施済。）

24日 中学生英語スピーチコンテスト（市民文化センター）

26日 中学生アメリカ訪問団第5回事前研修会

29日～30日 中学校新人体育大会

以上で、一般報告を終わります。

なお、お手元にあかがね算数・数学コンテストで使用した問題をお配りしていると思います。解答も入れておりますので、ぜひ解いてみてください。小学生で100点が12名おります。小学生に負けないように頑張っていたきたいと思います。中学生は去年は1

	<p>00点がいましたが、今年は残念ながら90点が最高で、2名おりました。2番の3、3番の3がそれぞれ違っていました。問題作成者に尋ねたところ、今年の中学生のレベルは非常に難しかったそうです。小学生は、100点が昨年5名でしたが今年は12名で、今年は簡単だったのではないかという話でした。そういうことで、100点が金賞、70点から89点が銅賞ということで、合計で35名が銅賞までに入っており、受賞率は36%でした。中学生の受賞率は24%でした。ただ、期待されるのは中学生のトップになったのは、1年生と3年生でした。1年生でも解けるし、3年生でも解ける問題となっています。小学生でも100点12名のうち5名が5年生です。そういった形で、問題作成としては難しかったけどよかったのではないかと。そして、学年関係なく、努力して解析ができる子どもが育っているなと思いました。2回目で約100名近く参加者が増えているのは、新居浜の子どもたちも頑張っているなど、学力向上に対して期待できる子どもがいることがわかりました。非常に嬉しいことだと思います。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございました。ただいまの教育長さんの一般報告で、何かご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>次に、報告に移ります。報告第7号「平成27年度補正予算（第4号）の議案送付について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>眞鍋総括次長兼社会教育課長</p>	<p>議案書の8ページ及び9ページをお目通しください。報告第7号専決処分いたしました平成27年度新居浜市一般会計補正予算（第4号）のうち、教育委員会関係予算について、ご説明を申し上げます。別冊の平成27年度補正予算書及び予算説明書の3ページをお開きください。第10款教育費 第6項保健体育費で補正額3,000千円の増額となりまして、教育費総額で、補正後の額を5,050,140千円にしようとするものでございます。</p> <p>それでは、目の行政目的に添ってご説明申し上げます。30ページをお開きください。体育施設管理運営費につきましては、本年5月に、山根公園屋内プールの天井が一部落下し、その対応として、天井修繕等を実施いたしました。今後も、市内の体育施設におきましては、想定外の不具合等の発生に対しまして、緊急に修繕対応するため、施設修繕料の増額補正をするものでございます。以上で、平成27年度新居浜市一般会計補正予算（第4号）に伴う専決処分</p>

<p>三木委員長</p>	<p>についての報告を終わります。</p> <p>ありがとうございました。ただ今のご説明で、何かご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>それでは、議案審議に移ります。本日の議案は第40号の1議案でございますが、こちらは人事案件でございますので、新居浜市教育委員会会議規則第37条の規定により、この会の最後に非公開で審議させていただきたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>はい。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ご異議がないようですので、最後に非公開で審議させていただきます。</p> <p>それでは、いじめ、不登校等生徒指導関係に移ります。事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>お手元の生徒指導関係資料をご覧ください。</p> <p><資料に基づき説明></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 不登校について 2 いじめについて 3 不審者情報 4 交通事故について
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございました。ただ今のご説明について、何かご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>それでは、その他に移ります。(1)平成27年度教育委員会取組方針について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>木村事務局長</p>	<p>8月の定例会でお示しました教育委員会取組方針の7月末までの結果につきまして、特にご意見はいただいておりますので、ホームページに公開したいと思っております。総合文化施設につきましては、まだヒアリングをしている状況でございますので、でき次第お伝えできたらと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございました。ただ今の説明について、何かご質問や</p>

<p>眞鍋総括次長兼社会教育課長</p>	<p>ご意見等はございませんか。</p> <p>次に、(2)平成26年度決算について、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>平成26年度の教育費の決算についてご説明をいたします。お手元に、平成26年度新居浜市歳入歳出決算書、決算附属書類、平成26年度決算と主要な施策の成果等に関する説明書の3冊と年度別教育費歳出決算の表をお配りしております。</p> <p>内容につきましては、「年度別教育費歳出決算」の表でご説明いたしますので、表をご覧ください。右から3列目までが平成26年度となっております。まず、26年度の決算額といたしましては、教育費合計4,031,400千円となっております平成25年度からは額で288,908千円の増、伸び率で前年比7.7%の増となっております。また、予算額4,628,826千円に対して執行率87.1%となっております。この主な要因としましては、中学校費の学校建設費、社会教育費の公民館費の執行率が低くなっております。主な理由といたしましては、平成26年度に予定しておりました工事等につきまして、進捗が遅れたため、平成27年度に繰り越しをしたことなどによります。具体的には、口屋跡記念公民館及び多喜浜公民館の耐震補強、大規模改修工事、中学校武道場天井照明設備改修工事などがございます。また、平成26年度の一般会計の決算額総額が48,588,321千円となっており、教育費が総額に占める割合は8.3%となっております。</p> <p>次に、民生費についてでございます。放課後児童クラブ・行目で放課後児童対策費につきましては88,448千円の決算額となっております。</p> <p>次に、総務費についてでございます。行目・総合文化施設建設推進費及び総合文化施設建設事業につきましては、2,316,278千円の決算額となっております。工事につきましては、27年度に一部繰り越しをしているため、執行率が60.4%となっております。</p> <p>次に、介護保険事業特別会計についてでございます。行目・高齢者生きがい創造学園講座事業費につきましては、平成25年度まで一般会計の社会教育費で予算を組んでおりましたが、平成26年度から高齢者の健康づくりとして介護予防の側面もあることから講座の事業費を、介護保険事業特別会計に組み入れたものでござい</p>
----------------------	---

<p>三木委員長</p>	<p>す。決算額は、8,409千円となっております。</p> <p>次に、災害復旧費についてでございますが、26年度は該当がありませんでした。</p> <p>次のページに、年度別の教育費の費目別決算をグラフ化したものを示しております。また、事業ごとの詳細につきましては、「平成26年度決算と主要な施策の成果等に関する説明書」の教育費については141ページ以降、民生費の放課後児童対策費については、49ページ、総務費の総合文化施設については、20、21ページ、介護保険事業特別会計の高齢者生きがい創造学園講座事業費については217ページに記載されておりますのでご覧いただきたいと思っております。以上が平成26年度教育委員会関係の決算状況となっております。以上で説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。ただ今の説明について、何かご質問やご意見等はありませんか。</p> <p>次に、(3)全国学力・学習状況調査について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>高橋次長</p>	<p>お手元の「平成27年度全国学力・学習状況調査結果」をご覧ください。受験人数や調査内容について先にご説明してから、小学校から順次ご説明申し上げます。まず、本年度の全国学力・学習状況調査結果についてご報告申し上げます。調査人数は小学校6年生が在籍する16校：1,074名、中学校3年生が在籍する11校：1,086名でございます。文部科学省から8月25日に調査結果の返却がありました。調査内容ですけれども、学力調査の内容は国語及び算数・数学につきましては、主として「知識」に関するA問題と、主として「活用」に関するB問題を実施しました。理科につきましては、1単位時間の中で「知識」「活用」に関する問題を合わせて実施しました。また、「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」におきましては、学習意欲、学習方法、学習習慣、生活の側面等に関する質問紙調査を行いました。</p> <p>それでは、お手元の資料の前から順番にご説明を申し上げます。まず1ページ目をお開きください。(1)県内各市町の結果でございます。まず、愛媛県教育委員会が公表しております県内19市町と県立中等教育学校の教科に関する調査結果一覧表でございます。表中の真横の黄色い矢印は全国平均値とプラスマイナス3ポイン</p>

ト未満の差、斜めの黄色い矢印は3ポイント以上の差を表しております。緑や赤色は5ポイント以上の差を表しております。新居浜市は小・中学校共に3ポイント以内の差でございます、小学校におきましては算数Bが1.6ポイント上回っております。一方、中学校におきましてはすべての項目で1～2ポイント全国平均を上回っております。昨年度との状況と比較しますと、小学校、中学校共に愛媛県内での順位を2つ上げております。学力向上に関する市や各学校の取組が功を奏してきている様子が伺えます。裏のページには理科を加えた結果を掲載しております。理科につきましては、小学校・中学校共に3～4ポイント程全国平均を上回っており、特徴的な結果を示しております。

次に、(2) 県内小・中学校の度数分布の表をご覧ください。この度数分布表は愛媛県内の小中学校の正答率を示したものでございます。新居浜市の平均は緑色で示しており、後ほど別の資料でご説明申し上げますが、小学校から中学校へ学年が進むにつれ、学力が向上する状況が新居浜市の数年来の特徴となっております。

次に、(3) 各教科の観点別の特徴について、ご説明申し上げます。各教科の各観点ごとに分析をしたのが、この蜘蛛の巣状のグラフです。赤い点線は全国平均を示し、新居浜市の平均は紺の実線で表示しております。これを見ますと、それぞれの教科の各要素ごとに強みと課題点がはっきりと分かります。

<資料に基づき説明>

- 1 小学校の分析
- 2 中学校の分析

次に、(4) 新居浜市の学力調査結果の経年変化について、ご説明いたします。次の細かな表のところをご覧ください。平成19年度から平成27年度までのうち、平成23年度を除く8年間の調査結果が表示されております。表中の赤い矢印は、平成24年度小学校6年生で調査を受けた児童が、本年平成27年度中学3年生になった時にどのように変化しているかを見ることができます。表中の青色で着色された部分は、全国に比べ高い状況にあることを示しております。表の右端の赤い矢印をご覧ください。これにより、国語と算数・数学の各項目を総合計しますと、平成24年度から27年度の間実に11.2ポイント向上したことが分かります。平成25年度から新居浜市では学力向上推進委員会を立ち上げ、3つの部会において研究を進めております。授業改善のために新居浜市標準

学力調査を導入、学級集団づくりのためにはQ-U検査を年2回実施、全員が分かる授業を創造するためにユニバーサルデザインの授業づくりの展開を進めております。平成28年度にはこの3年間の成果が一層表れるものと期待しつつ、取組を継続しているところでございます。

次は、(5) 市内各学校の調査結果でございます。次の2ページは新居浜市内の各小中学校の学力調査結果です。青色で着色されている部分は全国平均よりも高いことを表しています。最初のページは正解率の状況です。小学校はほとんど全国平均値、中学校は全国や愛媛県の平均値を上回っております。次のページは無回答率の割合です。小・中学校共に全国平均よりも良い数値が出ています。

次は、(6) 設問ごとの正答率です。ここからの数ページは設問ごとの正答率及び無回答率の詳細です。お時間のある時にお目通しいただけたらと思います。

次に、(7)「生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査」結果について、ご説明いたします。今度は生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査の結果についてでございます。小・中学校共に1番から87番までの質問に対する結果が示されております。全国と比較して低いものは赤字で示しております。また、新居浜市の数値につきまして、平成19年度からの経年比較も合わせて見ることができます。小学校で全国に比べて非常に良いものは、41 授業の初めにねらいが示されている、57 国語の問題で最後まで解答を書こうと努力した、68 算数の問題で最後まで解答を書こうと努力した、77 理科の授業で観察や実験をした割合、82 理科の問題で最後まで解答を書こうと努力したなどの項目です。小学生は最後まであきらめずに解くというところが抜き出ているところだと思えます。反対に課題となっているものは、27 地域行事への参加、28 地域や社会の問題や出来事に関心がある、48 国語の勉強が好き、58 算数の勉強は好きなどの項目です。小学校におきましては、児童の興味・関心・意欲を育てる魅力溢れる授業づくりをもう一度考え直さなければならないと考えております。次に中学校でございます。中学校につきまして全国に比べて非常に良いものは、9 夢や目標を持っている、12 携帯電話やスマートフォンの使用時間が少ない、19 家の人々が授業参観や運動会に来てくれる、38 授業で自分の考えを発表する機会が与えられる、51 読書が好きである、その他小学校と同様に、理科の実験や観察の割合、

	<p>最後まで解答しようと努力したなどの項目です。特に新居浜市では小学校・中学校共に、実験や観察に費やす割合が全国に比べて非常に高いということで、理科の結果にもその効果が表れているということが読み取れると思います。反対に課題となっているものは、14 土日の3時間以上の勉強、23 家で授業の復習をするなどの項目です。中学校は概ね良好な数値が出ております。</p> <p>最後に、総括意見を掲載しております。これはホームページ上に公開する資料でございます。お目通しいただいたらと思います。最後の表ですけれども、学習習慣等についての経年比較の特徴的なものを掲載しております。今後とも新居浜市学力向上推進委員会での取組を核として、新居浜市内すべての学校が、全国平均を上回る結果が残せるように、教職員と気持ちを一つにして取り組んでまいりたいと思います。よろしく今後ともお願いいたします。以上でございます。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ありがとうございました。ただ今の説明について、何かご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>その他、連絡事項等はございませんか。</p>
<p>高橋次長</p>	<p>構成的グループエンカウンター学習会の資料をご覧ください。少しご説明させていただいたらと思います。先ほど新居浜市学力向上推進委員会のお話をしました。授業を改善するのが授業力向上委員会で、標準学力調査によって分析を行っています。そして、子どもたちが学ぶ学級集団を分析して、満足した中で勉強をしていくその学習環境づくりのために、学習環境委員会が設置されています。その学習環境委員会が企画して実施しました学習会が、8月27日の構成的グループエンカウンター学習会です。1ページを開けてください。今回講師に来ていただいたのは、早稲田大学の加勇田修二先生です。日本で大変有名な日本教育カウンセラー協会の國分康孝先生の愛弟子ということで、体験的なワークショップ形式でお話をいただきながら、体験学習をしていきました。小学校の先生が48名、中学校の先生が26名、学習環境委員会の先生が11名の合計85名が出席しまして、いろいろ勉強してまいりました。ワンネス・ウイネス・アイネスとありますが、ワンネスというのはまず相手をそのまままるごと理解することが大切ということで、ウイネスの時にはそれを基にどう関わるかを一緒に考えていく、そしてアイネスと</p>

	<p>というのは最後私はこう思う、こう感じますよというメッセージを相手に送るといことで、このような手法でもってワークショップを通じて、メッセージの送り方、児童生徒の理解の仕方、子どもの育て方等を勉強しました。その結果としまして、次のページに円グラフが載っています。目立つのは緑色と青色だと思います。「学習会に参加して、今後の学級経営のために役に立ちましたか」という質問に対して、87%がとてもそう思う、13%が少しそう思うで、思わないという人は誰もいませんでした。それから、「学習会に参加して、児童生徒のために、今後実践してみようと思いましたが」という質問に対しても同様の結果で、86%がとてもそう思う、14%が少しそう思うという結果が出ております。この構成的グループエンカウンターという手法が、非常に先生方の興味関心を引いたということがこの学習会からわかりました。この学習会の学びを全体に広げていくべく、さらに研修、活動を重ねてまいりたいということで、ご報告をさせていただきます。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。その他、連絡事項等はございませんか。</p>
阿部教育長	<p>学校図書館支援員さんは夏休み中も各学校を回っていただきました。その中で神郷小学校、多喜浜小学校、金子小学校、浮島小学校、大生院中学校、北中学校の活動の様子を学校図書館支援センターだよりにまとめていますので、また見ておいていただいたらと思います。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。その他、連絡事項等はございませんか。</p>
桑原学校給食課長	<p>学校給食費未納状況についてご説明いたします。 <資料に基づき説明> 1 未納状況 2 回収状況</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。ただ今の説明で、何かご質問やご意見等はございませんか。 他に連絡事項等ございませんか。</p>
阿部教育長	<p>E S D通信をご覧ください。教育委員会でE S Dについてどうい</p>

	<p>う取組をしているのかというのをみなさんに知っていただくということで、大牟田市が出していました。そういうことから、遅くなったのですが、「ESD通信 No. 1 -ふるさとを愛し未来を拓く子の育成をめざして-」ということで公的な形で出させてもらって、ホームページにも掲載し、小中学校にも配布していくという形をとっていきたいと思います。よろしくお祈いします。</p> <p>なお、1か月間の新居浜市の状況、取組の新聞資料をお配りしています。教科書採択やあかがねミュージアムの課題等も出ています。また読んでいただけたらと思います。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。その他、連絡事項等はございませんか。</p>
木村事務局長	<p>教科書について8月12日の定例会で採択いただいたのですが、その後、市内・市外・県外の各団体から採択に関する要請や抗議文がFAX等で届いています。全部で15通来ているということでお知らせいたします。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。その他連絡事項等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、次回の定例会の日程を決定させていただきたいと思ひます。10月の定例会は、10月8日木曜日の15時00分から開催させていただきます。よろしくお祈いいたします。</p> <p>これより、非公開審議に入りますので、関係者以外の方は退席をお願いします。</p>
	<p>新居浜市教育委員会会議規則第54条の規定により署名する。</p> <p>委員名</p> <p>委員名</p>